

丸つけ・直しまでやった場合は日付を記入。やれなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 第31回 復習用 「基礎200問マスター(1)」の演習⑤まで	
② 第31回 復習用 「基礎200問マスター(1)」の家庭学習Aプリント	
③ 5年基礎力養成問題9月号 日付にあわせて1日1ページ	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの(Gクラスは必須)	日付
① 第31回 復習用 「基礎200問マスター(1)」の思考力養成問題 (授業で思考力養成問題を解いた場合は☆☆☆)	
② Gラボ算数(入試問題に挑戦) 下記QRコードの入試問題	

応用②は概ね今回の単元に対応しています。できれば問題を見たら再生を中断し、紙やノートに解いてから視聴してください。

入試問題動画QRコード



授業動画について

内部生限定で、5年生のレギュラー授業(授業回)の動画を、一定期間配信いたします。欠席時や、復習の際に分らなくなった場合、あるいはハイレベル例題を授業で扱わなかったけれどチャレンジしたい場合にご活用ください。本動画は、限定公開としておりますので、レギュラー生のみ利用できる点にご留意ください。

内部生用ページ(<https://labo-g.net/grade-2026>)からご視聴ください。

担当からの連絡

今回は「基礎200問マスター(1)」を扱いました。

「比・割合」「文章題」「公倍数・公約数」「数列」「速さ」「場合の数」「多角形」を中心に、基本事項の確認をしました。

たとえば、「場合の数」などは、春期講習に学習して以来だったため、思い出すまでに時間がかかったかもしれませんね。以前習った単元が突然でてきたら少し慌てます。今はそれが普通なことです。

範囲の決められた学習ならまだ取り組みやすいですが、入試問題には範囲がありません。問題を見た瞬間に、「こう解く問題だったな。」と、手が自然に動き出すくらいまで訓練を積んでいく必要があります。

今回は、基本の反復がいかに大切かを知ってもらう、いい機会になったと思います。

10問×5本の中で、同じ単元の問題が繰り返し出てくるので、少しずつ思い出しながら進めていってください。各回50問ずつ、計4回の合計200問をマスターしていきます。

「どんな単元でも基礎はできる」という状態は本当に重要です。基礎クラスでも全問できるようになってほしい問題ばかりです。

何度も復習して自分のものにしましょう。授業中に扱った問題は、宿題で1回、さらにG模試前に間違えた問題だけでももう1回、解くようにしてください。

復習用のコピーを取っておいて、再度取り組める状態にしておくことをお勧めします。